

2021(令和3)年度 看護ハナマル先生による 模擬授業が行われました！

一般社団法人 日本看護学教育学会は、看護学生さんからの推薦を受けて、2021(令和3)年度の看護ハナマル先生として3名の先生を選ばせていただきました。3名の先生方のうち、日本看護学教育学会 第31回学術集会では、片野裕美さん(東京警察病院看護専門学校)にオンラインにて模擬授業を行っていただきました。その様子を紹介させていただきます。



教育活動委員会
委員長 嘉手苅 英子

片野裕美さんは、東京警察病院看護専門学校の専任教員であり、副校長としても管理にも携わっておられます。また、執筆などを通じ看護師の仕事が社会に広く伝える活動もされている方です。今回の模擬授業のテーマは、1年生を対象とした観察と報告の概要です。情報が持つ言語的な性質に気づき、正確に聞き取り、的確に伝えられるよう、学生が主体的に取り組めることを目指したものです。

模擬授業の様子

「情報共有」

30時間

基礎看護学 「情報共有」

1年次 1単位30時間



看護ハナマル先生
片野 裕美さん
(東京警察病院看護専門学校)

基礎看護学の「情報共有」は、すべての技術をささえる科目の一つとして位置付けており、その情報共有で大切にしていることが2つあります。

- 看護師の思考から行動を可視化して学生達に伝える
- 学生が医療職であるナースを目指しながら階段を登っている自分、自分の成長を発見する機会
の提供になる

教材研究で一番意識したのは、入学して数カ月の看護の初学者たちの見る・聞く、この感覚と認識に近づくことでした。

講評



新井 英靖氏
(茨城大学 教育学部 教授)

今回の授業の魅力的なところは、「コンピテンス」と呼ばれる部分について、明確によく分かる授業をされていること。表面化されている能力の下支えになっている大元の素地の能力を指す言葉です。さらに以下の視点から、今回の授業の詳細な解説がありました。

- ①学生が「考えてしてみよう」という図を描くこと
- ②興味のある図がいつしか反転し「地」となって看護の「見方」が図となるように授業を展開していること

資質・能力を身につけるための 授業設計の基本原則①

具体的な状況のなかで考える

学生が「考えてしてみよう」という「**図**」を描く
(教材とは、学びの**プラットフォーム**を創り出すこと)

片野先生の授業では・・・？

- どのようなときに情報を入手し、活用する？
- この写真の負傷者を見て、どのような情報がつかめる？

具体的な場面を取り上げ、考えたことをワークシートに記入し、何人かの意見を聞き、教員がまとめていくスタイルの授業展開

(新井氏のスライドから引用)

感謝を込めて

推薦者の看護学生
さん(現3年生)

「1年生のときに授業を受けました。今回改めて授業に参加してワークシートに記入してみて、2年間の自分の成長を知ることができました。今後の実習でも意識していきたいと思いました。」



片野先生には本会より感謝状と記念品が贈られました。

「このような機会を得ましたことに心より感謝いたします。とても身が引き締まる思いです。

この授業を、さらに学生たちのために還元できるように考えております。」

理事長挨拶



一般社団法人
日本看護学教育学会
理事長 大島 弓子

看護ハナマル先生の授業をした頂いた片野先生に、深くお礼申し上げます。片野先生の授業は、これならば学生が推薦するはずだと思いました。

ぜひこれからも質の良い、そして興味関心がより一層高まる看護学の授業を続けていただきたく、よろしくお願い申し上げます。

また、新井先生からのご講評で、片野先生の授業を新たな視点で再び考えることができました。このように分かりやすく授業の評価をしてくださることで、私たち自身の授業にも生かすことができると感じました。

このハナマル先生の企画が、看護学教育に携わる皆様にとって様々な前向きな影響となり、自らの取り組みに反映されることになることを願っております。

視聴者のアンケート結果

動画を視聴したみなさまから、意見・感想が寄せられました。
(オンラインアンケート回答数 10名)

質問1：所属機関

区分	人数	%
大学	2	20
短期大学	0	0
専門学校	8	80
病院・施設	0	0
その他	0	0
未記入	0	0

質問2：職位

区分	人数	%
教授	0	0
准教授	2	20
講師	0	0
実習調整者	1	10
専任教員	7	70
未記入	0	0

質問3：臨床経験年数

経験年数	人
1年～3年	1
4年～6年	0
7年～9年	5
10年以上	3
未記入	1

質問4：教員経験年数

経験年数	人
1年～3年	2
4年～6年	1
7年～9年	1
10年以上	5
未記入	1

質問5：模擬授業の動画を視聴した理由（複数回答可）

理由（要約）	件数
授業の参考にしたい	7
テーマや内容に興味があった	6
教育方法として参考になる	6
他の教員の授業に興味がある	3
教育の専門家の講評が聞きたい	2
片野先生の授業が見たかったから	1
他者から参考になると薦められた	1
学生の立場に立った授業がしたい	1
計	27

質問6：

今後、役に立つと思った点・ご自分の授業に取り入れたいと思った点（自由記載）

講義の導入の方法、学生の興味・関心を得る方法
教材の選択、授業の運営方法
科目立て、他教員との協働により可能になったこと
初学者の目線に立ち、そこから看護の視点に切り替える授業展開、発問のすばらしさ
表現の仕方や例え方
思考を可視化する、教材研究の視点の大切さ
新井先生の講評での授業づくりが分かりやすかった

質問7：今後、取り上げてほしいテーマ

オンラインの進め方と個人情報保護の方法
教育とは何か、教育原理について
教員間の情報共有授業の工夫や学内での臨地実習代替えについてなど
学校と臨床の連携（学生から看護師へ成長するための継続）

日本看護学教育学会では、次年度も看護ハナマル先生を募集します。
看護学生のみなさんからの推薦をお待ちしております。